

平成30年度 第3回学校運営協議会 記録

実施日 平成31年2月8日(金) 14時45分～16時00分

参加委員 山口 裕稔 委員(槻の木高等学校 PTA 会長)  
田中 隆夫 委員(観世流能楽師シテ方)  
宮坂 政宏 委員((株)ERP編集主幹)  
山口 善章 委員(高槻市立第一中学校 校長)

事務局員 大西 雅美 (槻の木高等学校 校長)  
田中 徹 (槻の木高等学校 教頭)  
河嶋 憲治 (槻の木高等学校 事務長)  
山本 尚 (槻の木高等学校 首席・学校運営室長)  
常盤井 志伸 (槻の木高等学校 教諭・学習指導室長)  
小西 久美子 (槻の木高等学校 教諭・学年室長)

記録係 上原 雄也 (槻の木高等学校 教諭)  
辻 智己 (槻の木高等学校 教諭)

<開会>

<学校長あいさつ>

本日は皆様お忙しい中ありがとうございます。

今回は今年度の学校経営計画の達成状況の報告をさせていただき、次年度の計画についてご承認をいただく必要がございます。よろしくお願い致します。

<委員紹介及び事務局員紹介>

<山口会長あいさつ>

平成30年度、31年度の経営計画について、ご意見いただきたいと思います。よろしくお願い致します。

<議事>

田中教頭

(後期授業アンケート結果について)

- ・前期に比べ、後期の平均がより肯定的な結果になっている。
- ・教員としても授業を振り返る一つの材料にすることができた。

山本首席

(学校教育自己診断結果について)

#### <学習について>

- ・「授業は全体としてわかりやすい」は、昨年同様。「授業の難易度は適切である」は1年生で昨年よりポイントが下がった。大学入試の変化などを理由に、生徒の進路に対する意識がより高くなり、生徒がのぞむ授業の難易度はよりピンポイントになっているのではないかと思われる。
- ・「自宅で学習する習慣ができています」「自習室をよく利用している」は昨年より上昇。生徒の学習意欲は高まっている。

#### <学校生活について>

- ・「充実した学校生活を過ごしている」「入学してよかった」は昨年同様。
- ・「規律を守った生活を送っている」も昨年同様。
- ・「ホームページをよく見る」は保護者でポイントが下がったが、メール配信制度「槻の木メール」の活用が活発になったためと考える。今年度は地震、台風等の自然災害が多くあったため、「槻の木メール」が有効活用できた。

大西校長

#### <教職員について>

- ・前期、後期毎に全教科で研究授業を実施する等、授業をお互いに見学する基盤がある。授業改善への教員の意識は向上した。
- ・今年度から教育センター等で研修を受けた先生方が伝達研修を行い、校内で共有する場を設けた。今後も、校内研修を含め、職員研修の充実に努めたい。
- ・「カウンセリングマインドのある生徒指導の推進」は昨年より向上。今後も、推進していく。

山口会長

平成30年度学校経営計画の評価についてお願いします。

大西校長

- ・科目選択や進路選択、進路実現に向けた指導が充実している。個別の面談、サポートを丁寧に実施し、教員間でも情報を共有して、ひとり一人の生徒を支える体制がある。生徒の満足度も高い。
- ・NEXT STAGE では、京都大学 IPS 研究所、同総合人間学部での体験学習、東京研修（1泊2日）、オーストラリア研修（事前、事後の研修を含む）、オーストラリアの高校生とのペンパルの取組み等を実施した。いずれも満足度は高い。
- ・遅刻者数は昨年同時期と比べ減少している。
- ・校外学習、体育大会、文化祭、修学旅行のいずれも、満足度は高い。

山口会長

平成31年度学校経営計画の案についてお願いします。

大西校長

- ・数値目標は前年と比べて上げるばかりだと限界がある。これ以上上げるのでできないところまで

達しているものが多いので、その場合は、維持することを目標としたい。グローバル社会で活躍できる夢と高い志を持った生徒を育てていきたい。

- ・教員の力を結束し、保護者や地域社会に信頼され、期待される学校づくりを進めていきたい。

#### <協議>

##### 宮坂委員

- ・アンケートの数値は非常に良い。数値をそのまま受け取るのではなく更なる分析をしていってほしい。
- ・数値が低い項目もある。評価者の基準や主観によって答えが変わる質問項目については精査して分析していく必要がある。
- ・分析結果を具体的な目標・指導に落とし込んでいく必要がある。
- ・家庭学習の時間の項目が少し低い。学力の向上のためには、個の学ぶ意欲や学ぶ意味の理解、何のために学ぶのかという自分自身のミッションを持たせることが重要。

##### 山口委員

- ・1番の印象はきめ細やかな指導がなされていることだと感じる。街で通学中の槻の木生は、服装や表情がとても良く、一生懸命過ごしている姿をよく見る。学校で進路実現に向けてなど、きめ細やかな指導がなされていると感じる。
- ・授業の学習目標をどこに設定するか。高い目標を設定し、途中でしっかりと指導や評価をしながら、いつの間にか高い目標を達成できているというような指導が必要。結果、達成感、有用感を与えていければいい。
- ・スマートフォン向けの情報発信は必要。
- ・カウンセリングマインドについて勉強させていただきたい。中学校での課題として、生徒がおとなしいため、つつい上からの指導になってしまうと聞く。何とかカウンセリングマインドのある指導をしていきたい。

##### 田中委員

- ・規範・規律が守られている。遅刻が少ない、体育大会・文化祭が充実しているなど教職員の日頃の指導の賜物。

##### 宮坂委員

- ・教職員の質問項目で低いものがある。低いところを分析して、課題があれば、次年度の計画に入れていただければいい。

##### 田中委員

- ・NEXT STAGEは順調でしょうか？

##### 山本首席

- ・今年度は京都大学 IPS 研究所の見学や大学の授業を受けさせていただいたり、東京研修にて証券取引

所や東京外国語大学で大学生との交流など行った。またオーストラリア語学研修も行った。来年度はタイ、韓国への語学研修、神戸大学への訪問が決まっています。

#### 宮坂委員

- ・厚生労働省からの働き方改革が示されているが、意欲的に働けばストレスはないと言うことが言われている。子どもたちにも学習を意欲的に取り組める環境づくりが大切。
- ・学校としては非常にいい取り組みをしている。
- ・施設設備として不十分なところについては、府教委に届けるなどの対応をよろしくお願いします。

#### 山口委員

- ・中学校が槻の木高校を知る機会を増やしていきたい。中高で連携して何かを一緒に行う機会、ボランティアなど。今のところ交流があるのは吹奏楽部くらい。

#### 田中委員

- ・学校が安心・安全な場所になるためには生徒と教員の信頼関係など大切になってくると思う。安心して子どもを預けられる学校づくりについて考えを聞かせてほしい。

#### 大西校長

- ・カウンセリングマインドを基本として生徒指導、授業を行っていく。生徒の気持ちに寄り添った生徒指導が大切。
- ・教員には知識としての研修や実践の中での経験を積んでいただきたい。
- ・教員のアンケート結果にも数値が低い項目がある。数値を上げるための研修を行っていかなければならないが、取捨選択をしっかりと改善していきたい。

#### 山口会長

- ・親からすると入らせたい学校、子どもからすると厳しいイメージがあるので行きたくない学校になっている。入学してみると、当たり前のことをしているので「意外と普通」というギャップがある。中高連携を強化してイメージの改善が必要。
- ・保護者にも学校の様子等の情報が入りやすいように工夫・改善をお願いしたい。
- ・校長先生からの学校経営計画を承認して、協議会を終了します。

〈閉会〉